

専任教員活動報告

内田 亨（教授）

- I 研究分野 (1)水産養殖事業のグローバルビジネスモデルの構築
(2)組織におけるウェルビーイング

II 研究業績

- (1) 内田亨、フィリップ・オルシニ、レミー・マニエ・ワタナベ、渡邊薫子、キャロライン・ベントン「第5章ワーク・ファミリー・コンフリクトー コロナ禍における女性を取り巻く状況を中心にー」『コロナ下の世界における経済・社会を描く』同文館出版
- (2)内田亨「水産養殖のサプライチェーンにおける飼料会社の重要性和困難性の抽出」『新潟国際情報大学経営情報学部研究紀要』Vol. 4.
- (3) 永田公彦、内田亨「持続可能な社会と環境づくりにおける企業と社員の関係性ーフランス企業を中心に」『新潟国際情報大学国際学部研究紀要』Vol. 6. pp. 85-96

III 教育・社会活動（学生を含むもの）

- (1) 日本大学高井ゼミナール及び高崎経済大学清水ゼミナールと合同ゼミ発表大会に2年生2チーム及び3年生1チーム参加（2021年12月20日遠隔）

IV 学会・研究発表・その他の活動

- (1)内田亨「水産物の認証の可能性：フランスの水産加工企業A社の事例をから」日本情報経営学会第82回全国大会、2021年10月2日、名古屋大学(オンライン開催)
- (2) Remy Magnier-Watanabe, Caroline F. Benton, Philippe Orsin, Toru Uchida
“Leveraging Emotional Contagion to Support Subjective Well-Being at Work in Japan”
国際戦略経営研究学会第14回年次大会、2021年9月18日、中央大学多摩キャンパス（オンライン開催）
- (3) Philippe Orsini, Remy Magnier-Watanabe, Caroline F. Benton, Toru Uchida
“Antecedents of Subjective Well-Being at Work: The Case of French Permanent Employees” 国際戦略経営研究学会第14回年次大会、2021年9月18日、中央大学多摩キャンパス(オンライン開催)
- (4) 内田亨、オルシニ・フィリップ「フランスにおける地方の中小企業の海外展開-産業用機器製造業A社の事例」国際戦略経営研究学会第14回年次大会、2021年9月18日、中央大学多摩キャンパス(オンライン開催)
- (5) Magnier-Watanabe, R., Benton, C., Orsini, P., Uchida, T., & Nagata, K. “Antecedents of Subjective Well-Being at Work: The Case of Japanese Regular Employees” In Academy of Management Proceedings, Academy of Management (Vol. 2021, No. 1, 10620). 2021年7月30日、Briarcliff Manor, NY 10510
- (6) 内田亨「水産加工企業の顧客価値創造：フランス企業の事例を通して」日本情報経営学会第81回全国大会、2021年6月26日、主催校：東京経済大学（オンライン開催）
- (7) 内田亨「水産養殖事業に関する経営・情報学の適用可能性」、経営情報学会 2021年度年次

大会ポスター発表、2021年6月13日、オンライン開催

- (8) 内田亨「コロナ下の世界におけるワーク・ファミリー・コンフリクト（仕事と家庭の葛藤）」
第13回 U-go サロン「知のポットラックススペシャル 2021」、2021年12月、新潟大学（オンライン開催）
- (9) 内田亨「これからの水産加工企業の価値創造とは」第13回 U-go サロン「知のポットラックススペシャル 2021」、2021年12月、新潟大学（オンライン開催）

専任教員活動報告

梅原 英一（教授）

- I 研究分野 (1)経営情報システム
(2)社会情報システム

II 研究業績

- (1)Ueda, K., Sasaki, K., Suwa, H., Ogawa, Y., Umehara, E., Yamashita, T., Tsubouchi, K., Yasumoto, K., Prediction of Nikkei VI increase for reducing investment risk using Yahoo! JAPAN stock BBS, The 6th International Workshop on Application of Big Data for Computational Social Science in WI-IAT' 21, 2021
(2)梅原英一, 大学図書館のデジタル・トランスフォーメーションに対する組織の IT 活用能力, 日本印刷学会誌, 58(1), pp.18-22, 2021

IV 学会・研究発表・その他の活動

- (1)梅原英一, 富岡雄大, 東京都市大学の電子図書館の TC0, 経営情報学会 2021 年全国研究発表大会, 2021

専任教員活動報告

木村 誠 教授

I 研究分野 (1)経営情報学

(2)プラットフォーム仲介市場

(3)カスタマージャーニーマネジメント

II 研究業績

(1)Kimura, M. (2022), "Customer segment transition through the customer loyalty program", Asia Pacific Journal of Marketing and Logistics, Vol. 34 No. 3, pp. 611-626. <https://doi.org/10.1108/APJML-09-2020-0630>

III 教育・社会活動 (学生を含むもの)

(1)Peer-review of the submitted article of Asia Pacific Journal of Marketing and Logistics on October 2021 and January 2022.

IV 学会・研究発表・その他の活動

(1)木村誠。「AI 対応プラットフォームを対象とするデータネットワーク効果研究の方向性 統合的アプローチによる文献レビュー」経営情報学会 2021 年全国研究発表大会 (武庫川女子大学) 2021 年 11 月 13 日

(2)日本システムダイナミクス学会 理事 編集

(3)科研費基盤研究 (C) 「IoT 時代の顧客経験 (CX) マネジメント: カスタマージャーニーの分析・設計・計算」(17K04017) 研究代表者

(4)科研費基盤研究 (B) 「プラットフォーム論とエコシステム論を統合するレイヤー戦略論の展開」(19H01534) 研究分担者

専任教員活動報告

藤田 晴啓 教授

- I 研究分野 (1)ディープラーニング（深層学習）による物体のクラスター解析・分類問題
(2)データサイエンスによる考古・文化財の保存と復元
(3)GIS（地理情報システム）による空間解析

II 研究業績

- (1)藤田晴啓, 市川健太, 板垣正敏, 山本亮, マルチヘッド・マルチタスク 3D-2D-CNN モデルの開発, 考古文化財ディープラーニング研究会発表論文集 <http://id.nii.ac.jp/1608/00003393/>
(2)藤田晴啓, 山本亮, 板垣正敏, 市川健太, 宮尾亨, 河原和好, 土器 3D-RGB データの深層学習クラスター解析による型式・年代分類基準の検証, 考古文化財ディープラーニング研究会発表論文集 <http://id.nii.ac.jp/1608/00003396/>
(3)市川健太, 板垣正敏, 山本亮, 藤田晴啓, 須恵器 3 次元計測データによる分類解析モデルの検討, 考古文化財ディープラーニング研究会発表論文集 <http://id.nii.ac.jp/1608/00003391/>
(4)板垣正敏, 市川健太, 藤田晴啓, 宮尾亨, 縄文土器 3D 計測データによるクラスター解析モデルの検討, 考古文化財ディープラーニング研究会発表論文集 <http://id.nii.ac.jp/1608/00003392/>
(5)板垣正敏・河野一隆・藤田晴啓, 無相関ストレッチおよび CycleGAN による褪色木簡の復元, 考古文化財ディープラーニング研究会発表論文集 <http://id.nii.ac.jp/1608/00003394/>
(6)河原和好, 藤田晴啓, 縄文土器 3D 計測データの復元箇所マスキング処理, 考古文化財ディープラーニング研究会発表論文集 <http://id.nii.ac.jp/1608/00003397/>

III 教育・社会活動（学生を含むもの）

- (1)ゼミナール・研究室活動
① 自治体等との連携事業 令和 3 年度佐渡市域学連携地域づくり応援事業集落活性化調査研究, (2021.9.3-4, 5-6) ゼミナール 3 年生 11 名全員が新潟県立佐渡総合高校および羽茂小泊集落におけるワークショップ・調査に参加

IV 学会・研究発表・その他の活動

- (1)情報考古学会, International Society of Biomass and Bioenergy
Python 機械学習勉強会 in Niigata
(2)東京国立博物館客員研究員（考古資料デジタルデータの活用研究）
(3)にいがた GIS 推進協議会アドバイザー
(4)Secretary, International Society of Biomass and Bioenergy
(5)[学術研究助成基金]国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））「人類遺産としての先史壁画の保存と公開活用に向けた研究基盤の確立」（R1～R5）（研究分担者）
(6)[科学研究費補助金]学術変革領域研究（A）（土器を掘る/20A102）（公募研究 R3～R4）「3D マルチ入力・マルチ出力土器分類 DL モデルの開発研究」（研究協力者）

- (7)[科学研究費補助金]基盤研究(B)(一般)「須恵器 3D-RGB データの深層学習クラスター解析による形式・年代分類基準の検証」(R4～R6) (研究代表者)
- (8)[科学研究費補助金]基盤研究(B)(一般)「統計的画像処理と機械学習を併用した文化財のデジタル復元技術の基盤創出」(R4～R7) (研究分担者)

専任教員活動報告

山下 功 准教授

- I 研究分野 (1)管理会計、原価計算、会計情報システム
(2)公共交通経営

II 研究業績

- (1) 山下功(2021)「カナダ主要都市における公共交通の運賃制度」『新潟国際情報大学 経営情報学部 紀要』第4号, pp.108-117.
(2) 山下功(2021)「遠隔授業の実施事例と授業改善」『新潟国際情報大学 経営情報学部 紀要』第4号, pp.134-139.
(3) 山下功(2021)『管理会計論 教科書 2021 年度版』新潟国際情報大学教育オープンリソース, <https://www.nuis.ac.jp/pub/common/pdf/2021/or_kanrikaikei_1.pdf>.
(4) 山下功(2021)『管理会計論 予習ノート 2021 年度版』新潟国際情報大学教育オープンリソース, <https://www.nuis.ac.jp/pub/common/pdf/2021/or_kanrikaikei_2.pdf>.

III 教育・社会活動(学生を含むもの)

- (1) 講義
① 科目名 管理会計論、財務会計論、簿記基礎
② テキスト 上記の研究業績(2)(3)
③ 教育改善 毎回の復習テスト答案(学生1人につき1つのExcel ファイル)を、1行1レコードのExcel ファイルに統合するPython プログラムを後期開講前に制作した。これにより、答案の分析が容易になり、フィードバックの改善に貢献できた。
(2) ゼミナール・演習
① 科目名 基礎ゼミナール2、応用ゼミナール1・2、研究ゼミナール1~4、卒業研究3・4、卒業論文

IV 学会・研究発表・その他の活動

- (1) 新潟国際情報大学社会連携センターにおけるオープンカレッジ公開講座の開講
① 経理と簿記の基礎知識(2021年5~6月、全6回)
② 財務諸表の仕組みと見方(2021年6~7月、全4回)
③ 管理会計入門(2021年10~11月、全4回)
④ 財務諸表の仕組みと見方(2022年1月、全4回)
(2) 数学おもしろ講座講師(COVID-19の為、休止中)
(3) 新潟県立巻総合高等学校評議員(2021年度~)